

ホテルアソシア新横浜 障がいのあるアーティストとのコラボレーション
『アール・ブリュット コンセプトルーム』
メディア向け内覧会のご案内（2025年4月15日）

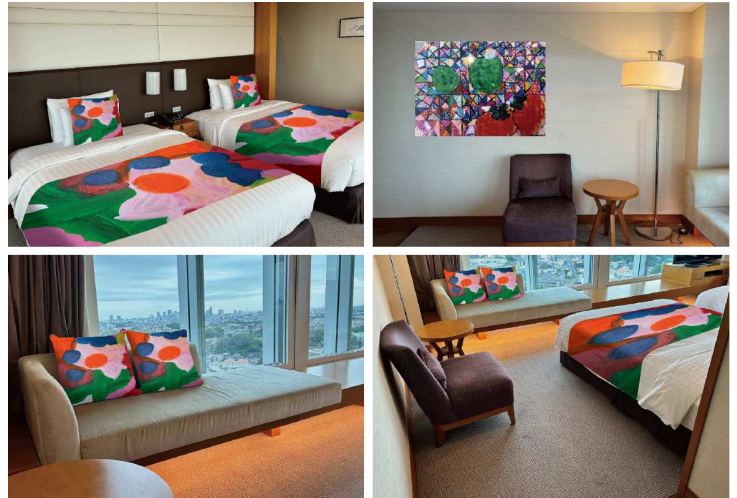
宿泊期間：2025年4月19日（土）～2025年9月30日（火）

株式会社ジェイアール東海ホテルズが運営するホテルアソシア新横浜（所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 総支配人：増田 健）は、2025年4月7日（月）より「アール・ブリュット コンセプトルーム」の予約受付を開始いたします。

「アール・ブリュット」とは、「生（き）の芸術」を意味するフランス語で、専門的な教育を受けていない人による芸術や表現の総称として用いられています。障がいを持つアーティストによる芸術作品も含まれ、国内においても様々なアーティストが活躍しています。

今回のコンセプトルームは障がいを持つアーティストがさらに活躍できる場を創出し、作品の素晴らしさを知っていただくことを目的としています。

客室内の装飾に加え、一部フロアの壁やエレベーターホールにもアート作品の展示を実施、アートに触れる場を提供します。



■コラボレーションの背景

ホテルアソシア新横浜では、多様性のある社会の実現を応援すべく、神奈川県内で活躍するアーティストのアール・ブリュット作品を制服のスカーフやポケットチーフに採用し、2024年度からSDGs週間等に着用する取り組みを開始しました。

アール・ブリュット作品を着用する中で、従業員自身が、障がいを持つアーティストが生み出すアートの彩りやデザインに魅力を感じ、皆さまにも知っていただきたいという想いのもと、唯一無二のコンセプトルームづくりを計画しました。

海外や、地元神奈川県のお客様が多い私たちのホテルから地元のアーティストの活躍を広めたい、そんな地域密着のホテルを目指して、今回の企画を計画し実現に至りました。

ホテルアソシア新横浜は、神奈川県「ともに生きる社会かながわ憲章」(※)の理念に賛同し、本取組を通じて、障がい者の社会参加機会の拡充と、インクルーシブな社会の実現に今後も積極的に取り組んでいきます。

※「ともに生きる社会かながわ憲章」とは、障がい者に対する差別や偏見をなくし、誰もがその人らしく暮らす地域共生社会の実現を目指し、平成28年10月14日に神奈川県が定めたものです。
神奈川県ホームページ：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/cnt/f535463/index.html>

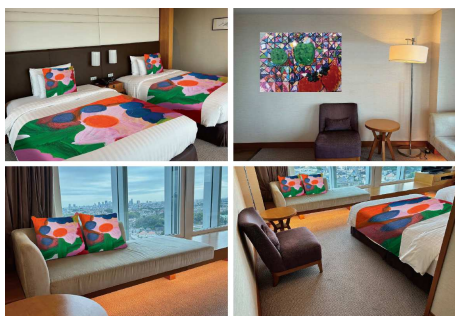
■アール・ブリュット コンセプトルーム概要

室内は、神奈川県内在住のアーティストの作品で装飾。ドリンク用のコースターをお持ち帰りいただける他、社会福祉施設の方がパッケージの組み立て作業をされたお菓子などもプランに含まれます。ロビーフロアの壁面やエレベーターホールにもアート作品を展示し、従業員は期間中アール・ブリュットデザインのスカーフやポケットチーフを着用し、華やかに彩ります。

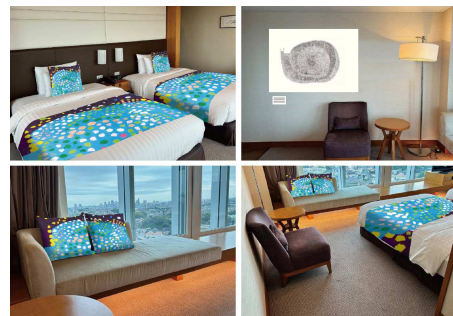
宿泊プラン名	アール・ブリュット コンセプトルーム
コンセプトルーム	エグゼクティブツインルーム（51.4㎡） 2室 1泊朝食付 ・アール・ブリュット作品柄のベッドスロー、枕カバー、クッションカバー ・壁掛けアート ・コースター
館内装飾	・エントランスロビーフロア壁面にアート作品 ・コンセプトルームがあるフロアのエレベーターホールにアート作品
宿泊プランに含まれるもの	・アール・ブリュットデザインのコースター ・横浜三塔物語スティックケーキ
販売価格	54,800円～（1～2名利用の1室料金／朝食付）※税サ込
予約開始日	2025年4月7日（月） 10:00～
宿泊期間	2025年4月19日（土）～2025年9月30日（火）
予約方法	ホテルアソシア新横浜公式ホームページで限定販売 URL： https://www.associa.com/syh/stay
所在地	ホテルアソシア新横浜（横浜市港北区新横浜 2-100-45）
チェックイン・アウト	チェックイン：14:00～、チェックアウト：11:00

【コンセプトルームイメージ】

①

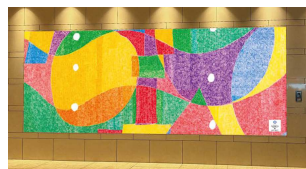


②



【エントランスロビー壁面のアート】

①



4月19日～
6月30日展示
（予定）

②



7月1日～
9月30日展示
（予定）

【エレベーターホールのアート】

①



②



【プランに含まれるもの】



▲コースター

ご滞在の記念としてお持ち帰りいただけます。



▲お菓子

「横浜三塔物語スティックケーキ」社会福祉施設の方がパッケージの組み立て作業をしたものです。

内覧会のご案内

2025年4月15日（火）10:00（9:30受付）から、内覧会を実施いたします。

詳しくは次ページのご案内をご確認ください。

※掲載している写真・イラストはすべてイメージです。料金には諸税サービス料が含まれています。

アーティストの紹介

今回のコンセプトルームやエントランスロビーのアートをデザインした方々のご紹介は4ページ目以降をご確認ください。

【本件に関する問合せ・取材の申込み】

ホテルアソシア新横浜 営業グループ 野田・中山

Tel. 045-475-0011（代表） Fax. 045-475-0610

E-mail: yumi.noda@associa.co.jp / yumi.nakayama@associa.co.jp

ホテルアソシア新横浜 障がいのあるアーティストとのコラボレーション
『アール・ブリュット コンセプトルーム』
メディア向け内覧会のご案内 (2025年4月15日)

ホテルアソシア新横浜 (所在地: 神奈川県横浜市港北区新横浜 総支配人: 増田 健) は、
2025年4月15日 (火) 10:00より「アール・ブリュット コンセプトルーム」の
内覧会を開催いたします。

ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

●日時: 2025年4月15日 (火) 10:00～ (9:30受付開始)

●受付: ホテルアソシア新横浜 10階ロビー特設受付

【内覧会の内容】

- ・総支配人挨拶
総支配人 増田 健 (ますだ・けん)
- ・営業グループ支配人挨拶及び概要説明
支配人 野田 有美 (のだ・ゆみ)
- ・コンセプトルームご案内

出席いただける場合は、メール・FAXまたは電話にて、4月14日 (月) 15時までにご連絡をお願いいたします。

貴社名 : _____

媒体名 : _____

お名前 : _____ 様 (計 _____ 名)

ご連絡先 : (Tel) _____

(メール) _____

【本件に関する問合せ・取材の申込み】

ホテルアソシア新横浜 営業グループ 野田・中山

Tel. 045-475-0011 (代表) Fax. 045-475-0610

E-mail: yumi.noda@associa.co.jp / yumi.nakayama@associa.co.jp

■アーティストの紹介■

【コンセプトルームイメージ】

①布製アイテム



大槻 陽人 HARUTO OHTSUKI



作品名『FLOWER』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

描きたいモチーフに出会うまで、ひたすらアトリエの本棚やスマホでネット検索する大槻さん。構想が決まれば行動は速い!独自の構図と配色で、どんどん描き進めていく。彼にとってモチーフ探しのルーティンは動機づけのようなもの、完成した作品は、はるかにモチーフを超えている。

①壁掛けアート



百田 佳恵 KAE MOMOTA



作品名『洋梨と柿 (ラフランス)』 F4キャンバスにアクリル絵の具 制作年 2015

1979年生まれ。2010年よりアート・メープルかれんに所属。中学生の頃、手織りや油絵に興味を持ち学ぶ。人物、花、野菜などのモチーフを得意とし、独自の縫い方を多方面に広げながら刺繍を行い絵画やさりを織りの制作に励んでいる。

②布製アイテム



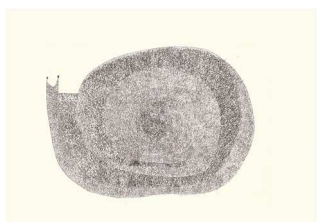
海紅・M MIKU・M



作品名『いろんな形』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

青い空と太陽の光が燦々と降り注ぐ風景画や、植物を細かく捉えながらも大胆で鮮やかに表現しており、ポップな仕上がりになるのが面白い。どの作品にも共通するのは、彼女の感じたまま表現されることで、観る人に元気と想像力を与えてくれます。

②壁掛けアート



宇都口 竜太 RYUTA UTOGUCHI



作品名『かたつむり』 B5画用紙にボールペン 制作年不明

1998年生まれ。2017年よりアート・メープルかれんに所属。生き物や花をモチーフに絵画やイラストを制作。文字を書くのも好きで、過去には文字の集積で絵画を制作していた。温かみのあるタッチが特徴。ミシンの作業も得意。絵画の色彩感覚を生かして、端切れのコースターなど製品を多数制作している。

【エントランスロビー壁面のアート】

①



奥津 大希 DAIKI OKUTSU



作品名『前進』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

笑顔とトークで、出会った人を幸せな気分にしてしまう奥津さん。ひとたび創作をはじめると真剣な表情になる。この作品は、色鉛筆を使って肉眼では見えないほど細かな模様を幾重に重ねて描いたもので、制作する前に、テーマ研究やラフスケッチを重ね綿密な準備を行った。その準備が自信となり本番制作に臨めると彼は語る。

②



佐藤 玲奈 RENA SATOH



作品名『さかなの群れ』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

佐藤さんが創作する作品は、ジャンルを問わず雑誌やネット、日常のふとした場面からもアイデアを収集して、周囲を驚かせる。チャレンジ精神旺盛で、新しい表現をいつも追求している。人とコミュニケーションをとりたい気持ちを作品に込めて、『人を喜ばせたい』という思いが、彼女の創作意欲を突き動かしている。

【エレベーターホールのアート】

①



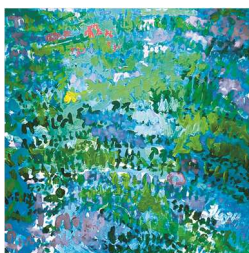
蘆田 珠希 TAMAKI ASHIDA



作品名『お花』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

宝石やクリスタル、ウェディングドレス、花束など、華やかでキラキラと輝くものをモチーフとする作品が多く、この作品は花のひとつひとつを分解して、ポップな色使いで描いたもの。アトリエでは、ハミングしながら創作している姿が印象的で、蘆田さんの周りには穏やかな空気を醸し出す。

②



野々村 聡眞 SOUMA NONOMURA



作品名『青緑』 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル所属

絵具を混色して新たな色を生み出す野々村さん。鮮やかな緑や奥深い緑を自由自在に作り出す色の魔術師である。独特な筆運びでリズムカルに、文字や模様をキャンバスに重ねていく姿は楽しそうだ。スタッフや仲間の名前を記憶して、アトリエにいないメンバーの名前を呼びかける。彼のユニークなコミュニケーションは毎日アトリエから聞こえる。